

I・T・Vに関する
調査表記入マニュアル

〔E080〕 I T V 基本

この調査表は、I T Vに関する基本的データを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

- (1) データは次の単位で作成する。
 - 路線毎とする。
 - カメラ設置箇所毎とする。
- (2) I T Vに関する写真・図面類については「E081 I T V図面類」にて作成する。
- (3) I T Vに関する補修履歴等については「E082 I T V補修歴」にて作成する。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

(J) 整理番号3

(N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、
§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 名称

該当するI T V施設の名称を、10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字)で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

(Q) 百米標 (km)

該当する I T V の設置箇所の距離標 (百米標) を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 距離 (m)

該当する I T V の設置箇所の距離標 (百米標) からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(S) 所在地

該当する I T V の設置箇所の所在地 (字番地まで) について、30文字以内の日本語で記入する。

(V) 施設完成年度 : ◆

施設が完成した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——> $\begin{matrix} \underline{361} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (3 : 昭和)} \end{matrix}$

(W) 施設改修年度 : ◆

施設を改修した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

(記入例) 平成5年 ——> $\begin{matrix} \underline{405} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (4 : 平成)} \end{matrix}$

(X) 設置目的C

I T V の設置目的について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下共通	0
上り用	1
下り用	2

(Z) カメラ完成年月 : ◆

該当するカメラが完成 (設置) された年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1983年10月 ——> 198310

(AA) 上り下り区分C：◆

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上り線	1
下り線	2

(AC) カメラ型式

カメラの型式（メーカー及び型番）について、20文字以内の日本語で記入する。

(AD) カメラ台数：◆

設置されているカメラ台数を記入する。

(AF) ズーム有無C

ズーム装置の有無について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
ズーム無し	0
ズーム有り	1

(AH) 固定式可動式別C

監視できる方向について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
固 定 式	1
可動式（旋回）	2

(AJ) 拡声器有無C

カメラと共に拡声器が併設されているか否かについて、該当するコードを記入する。

区 分	コード
拡声器無し	1
拡声器併設	2

(AP) 回線区分C

回線区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
建設省専用	1
N T T	2
そ の 他	9

(AS) モニター台数：◆

モニターの台数を記入する。

(AV) 電力契約種別C

契約種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	
定額電灯	1	
従量電灯 A	2	注1)
B	3	
C	4	
公衆街路灯 A	5	
B	6	注2)
C	7	
業務用電力	8	
融雪電力	A	
低圧電力	B	
その他	9	

注1) 関西、中国及び四国電力株式会社では従量電灯のAとBを合せてAとし、沖縄電力株式会社では従量電灯のA、BおよびCの区分はない。

注2) 北海道、東北、東京、北陸、中部、九州及び沖縄電力株式会社では公衆街路灯のBとCを合せてBとする。

(AX) 電力契約番号

電力の契約番号を、20文字以内の数字で記入する。

(AZ) 電力支払営業所名

使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名を、15文字以内の日本語で記入する。

(BA) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(BB) 市区町村C：◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ———> コード：08401
(検査数字は含まない)

[E082] I T V 補 修 歴

この調査表は、I T Vの補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E080 I T V基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編) §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
カメラの修復	1 1
" の取替え	1 2
受信器の修復	1 3
" の取替え	1 4
回線の修復	1 5
" の取替え	1 6
拡声器の修復	1 7
" の取替え	1 8
支柱の修復	1 9
支柱の取替え	2 0
その他	9 9

(S) 備考

損傷原因等について50文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E080 : I T V (基本諸元)

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標	999.9	k m	○	○
距離	9999	m	○	○
所在地	全角30文字			○
施設完成年度	999	和暦	○	○
施設改修年度	999	和暦	○	○
設置目的C	半角1文字			○
カメラ完成年月	199901	西暦	○	○
上り下り区分C	半角1文字		○	○
カメラ型式	全角20文字			○
カメラ台数	99		○	○
ズーム有無C	半角1文字			○
固定式可動式別C	半角1文字			○
拡声器有無C	半角1文字			○
回線区分C	半角1文字			○
モニター台数	99		○	○
電力契約種別C	半角1文字			○
電力契約番号	半角20文字			○
電力支払営業所名	全角15文字			○
備考	全角50文字			○
市区町村C	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E082 : I T V (補修歴)

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照